

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育連続講座 Continuing Entrepreneurial Education		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ビジネス実務総論、経済学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
技術戦略経営				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
本授業は、「一般社団法人 佐野青年会議所」との産学連携による連続講義を通して、「市民としての起業家マインド」、「アントレプレナーシップ」、「変化を起こす力」、「果敢に挑戦する組織」等の学修を通して「起業家スキルに根ざした、新たな価値の創造」を目指す学修体系である。				
授業の目標				
起業家マインドが拓く未来を目指して、 ①「市民としての起業家マインド」を習得できるようにする。 ②「アントレプレナーシップ」を習得できるようにする。 ③「変化を起こす力の拡大」を習得できるようにする。 ④「果敢に挑戦する組織」を習得できるようにする。 ⑤「起業家スキルに根ざした、新たな価値の創造」を習得できるようにする。				
授業の方法				
本授業は、産学連携となる「一般社団法人 佐野青年会議所」派遣講師による連続講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用する起業家教育を通して「起業家マインド」を発揮する人材育成を目指すものである。				
学習の成果（学習成果）				
①「市民としての起業家マインド」、②「アントレプレナーシップ」、③「変化を起こす力の拡大」、④「果敢に挑戦する組織」、⑤「起業家スキルに根ざした、新たな価値の創造」等の知識・概念に習熟し、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニングをビジネスシーンにおいて活用できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの解説・授業の狙いと進め方・成績評価等）、学習の概要／起業家とは／グループワーク準備			
第2回目	事例研究「市民としての起業家マインド」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション[当日、講義内容のシラバスをデジタル配信します、以下、同]/レポート課題説明と出題			
第3回目	事例研究「市民としての起業家マインド」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション			
第4回目	事例研究「アントレプレナーシップ」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション			
第5回目	事例研究「アントレプレナーシップ」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション/グループワークによるプレゼン(1)			
第6回目	事例研究「変化を起こす力の拡大」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション/レポート課題説明と出題			

第7回目	事例研究「変化を起こす力の拡大」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション
第8回目	事例研究「果敢に挑戦する組織」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション
第9回目	事例研究「果敢に挑戦する組織」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション
第10回目	事例研究「起業家マインドで創る“躍動する佐野市”」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション
第11回目	事例研究「起業家マインドで創る“躍動する佐野市”」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション/グループワークによるプレゼン(2)
第12回目	事例研究「起業家スキルとは何か」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション/レポート課題説明と出題
第13回目	事例研究「起業家スキルとは何か」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション
第14回目	事例研究「新たな価値の創造」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション
第15回目	事例研究「新たな価値の創造」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師による講義とグループディスカッション/グループワークによるプレゼン(3)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の3点から評価する：①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	Sのレポートの評価：①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書		
小テスト	40%	グループワークによるプレゼンテーション力のS評価：①内容が創意工夫した発表となっている、②グループの意見が論理的に述べられている、③グループで協働し、積極的に質疑応答に臨んでいる。
試験		
発表内容(態度含む)	20%	Sのレポート発表評価：①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他		上記評価基準に基づき成績評価：S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59

教科書と参考図書

長江庸泰作成の“デジタルテキスト[起業家教育 2017年度版]”を活用する。

履修上の留意点・ルール

本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。